

平成26 年度（ 25 年度実施分） 事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 26 年 10 月 30 日

1 事務事業 の 現状 (DOC)	事務事業名	No. 690125	中学校管理備品等整備事業				主管課名	教育行政課				
	この事務事業 の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成				課長名	鈴木 正憲				
		施策	豊かな心と個性が輝くまち									
		基本事業	教育内容・活動の充実									
	(1)事業の概要											
	各学校からの希望をもとに学校教育に必要な消耗品・備品を整備していきます。 機器類の経年劣化に対応した計画的な更新を必要とする。					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称		単 位				
						購入した管理備品数		台				
						その指標						
	(25年度に実施した具体的なこの事業のやり方、手順等)											
各校の備品購入希望を基に予算を配分し、その配分額の中で備品を購入する。												
26年度計画		前年と同様 変更あり		変更内容								
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)							
市内中学校					名 称		単 位					
					市内中学校		校					
					その指標							
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)					(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)							
学校に必要な備品を購入し教育環境を整備					名 称		単 位					
					備品が納品された環境整備校数		校					
					その指標							
(4)結果(上位基本事業の意図)					(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)							
安心して生活でき、進んで学習できる環境をつくる					名 称		単 位					
					教育基本計画における重点施策の達成率		%					
					その指標							
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標	年度	単位	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
(5)の活動指標		台	10	4	10	10	10	10				
(6)の対象指標		校	4	4	4	4	4	4				
(7)の成果指標		校	4	4	4	4	4	4				
(8)の結果の成果指標		%	96.2	98.1	100	100	100	100				
(10)予算費目		会計	01 一般会計				款	10	項	03	目	01
(11)コスト		年度	24年度実績値	25年度実績値	26年度計画値	27年度目標値	28年度目標値	29年度目標値				
事業費(決算又は予算額)		単位	2,484	5,153	2,327	6,028	4,864	4,656				
A	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	588	4,502	0	0	0				
		地方債	千円	0	0	0	0	0				
		その他	千円	0	0	0	0	0				
		一般財源	千円	1,896	651	2,327	6,028	4,864	4,656			
人件費B		千円	1,168	1,520	1,520	1,520	1,520	1,520				
正職員従事時間×人数		時間×人	155×2	205×2	205×2	205×2	205×2	205×2				
正職員以外の人件費		千円										
その他費用C		千円	33	258	258	258	258	258				
トータルコストA+B+C		千円	3,685	6,931	4,105	7,806	6,642	6,434				
単位あたりコスト		千円/校	921	1,733	1,026	1,952	1,661	1,609				
(トータルコスト/(6)の対象指標)		千円/										
		千円/										

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名	No.	690125	中学校管理備品等整備事業
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？			(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？
	各学校設置（三好中学校は1947年設立）から			・教育委員会、議会から教育環境の充実を求める意見がある。 ・更新時期になる備品類について計画的に購入する必要がある。
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？			
・生徒の学習環境整備を図るため。				
(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？				
変化していない		変化し生徒数の増加及び機器更新のため、より多くの備品が必要となっている。		

3 評価（SEE）	目的妥当性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務	→	根拠法令		
		自治事務	→	法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する			
	有効性	(2)この事業の意図は結果（基本事業の意図）に結びつきますか？	結びつく		理由		
		(3)対象を見直すこと（対象の拡大又は縮小）はできませんか？	できる	→	内容		
		できない	→				
		(4)意図を見直すこと（意図の追加・拡充（意図の段階は正しいか）又は絞込み）はできませんか？	できる	→	追加	内容	
	できない	→	絞込み				
	効率性	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？		影響が大きい		理由又は内容	
		多少影響がある	→				
		影響はない	→				
公平性	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？	できる	→	理由又は内容	現状でおおむね成果を満たしている		
	できない	→					
改革改善案	(1)今後の事業の方向性	ある	→	内容			
		ない	→				
改革改善案	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	ある	→	内容			
		ない	→				

4 改革改善案	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	増加	事業費の方向性	増額	成果の方向性	維持
(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど							